

事業概要シート

施策：文化財の保護・活用・継承

《 》は、29年度の当初予算

事業名：大村市歴史資料館（仮称）整備事業	拡充	予算額	1,014,561 千円
		《 》	230,899 千円
財源内訳	国庫支出金	250,585 千円	
	県支出金	千円	
	地方債	592,200 千円	
	その他	千円	
	一般財源	171,776 千円	

【事業の目的・概要・対象】

大村の歴史遺産を継承し、郷土学習や大村の歴史に関する情報発信の拠点となる大村市歴史資料館（仮称）を整備する。

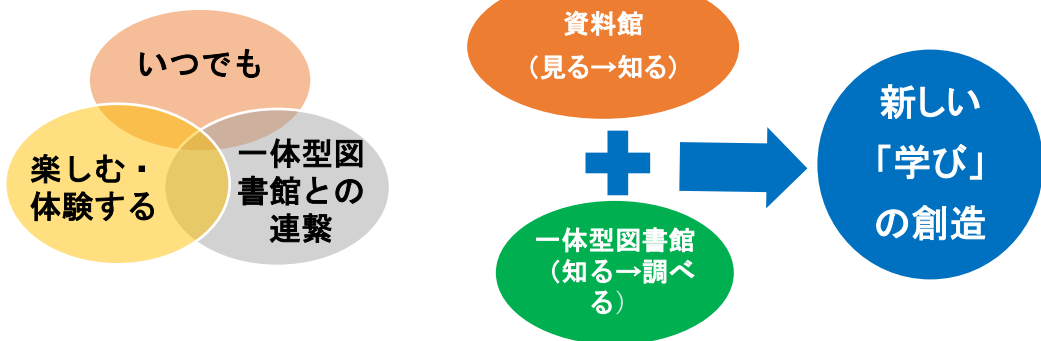
建設工事（県立市立一体型図書館と共同）
 建設工事に伴う委託業務（県立市立一体型図書館と共同）
 展示工事

新歴史資料館の三本柱

- I 大村の歴史を、深く、楽しく伝える資料館
- II 市民の主体的な郷土学習を支援する資料館
- III 貴重な歴史資産を後世に継承する資料館

- 常設展示室と企画展示室の設置
- 模型や情報端末、映像や体験コーナーなどの導入
- 歴史情報と図書情報の融合

目指すべき展示



- ①常設展示室 常設の展示で原始・古代から近現代大村の歴史の流れを紹介
- ②企画展示室 期間を区切って、様々なテーマの展示を詳しく紹介
- ③シアター 大村の歴史に関する映像を紹介

【背景】

長崎県立大村市立一体型図書館の建設に伴い、市立図書館に併設されている市立史料館を、再整備することとなった。
 大村市の歴史の情報を発信できる歴史資料館として整備基本方針を作成し、整備を進めている。

担当課	教育委員会文化振興課	問合せ先	0957-53-4111（内線372）
-----	------------	------	---------------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	展示制作進捗	目標値	%	15	30	70	100
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	整備進捗率	目標値	%	20	50	78	100
②		目標値					

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費		102	36,731	230,899	1,014,561	30,000	1,312,293
国庫支出金			24,795	110,688	250,585		386,068
県支出金							0
地方債			9,100	104,200	592,200		705,500
その他							0
一般財源		102	2,836	16,011	171,776	30,000	220,725
人件費		4,363	6,152	4,963	6,818	4,963	27,259
職員		0.58人	0.80人	0.60人	0.80人	0.60人	3.38人
時間外勤務		136h	167h	300h	500h	300h	1403h
嘱託員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	0	4,465	42,883	235,862	1,021,379	34,963	1,339,552

妥当性 (市の関与)	郷土の歴史資料を保存し発信していく市の施設であり、市が行う事業である。
有効性 (施策貢献度)	歴史資料館の整備は、文化財の保存や郷土の歴史情報の発信への効果は大きい。
効率性 (コスト)	コスト削減に取り組んでいくが、建設工事などは県との負担割合が決定しており、削減は難しい。

1次評価	整備も終盤となり、拡充が必要。
2次評価	1次評価の意見のとおり